

大豆・麦などの、病害虫同時防除に…

日曹

スマートップ[®]M 粉剤

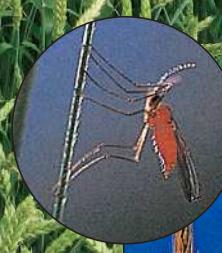
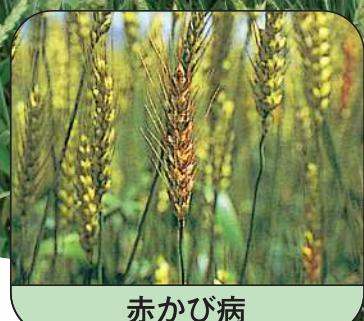
有効成分: MEP 3.0%、チオファネートメチル 2.0%

殺虫剤分類 1B 殺菌剤分類 1

人畜毒性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)



品質を高める

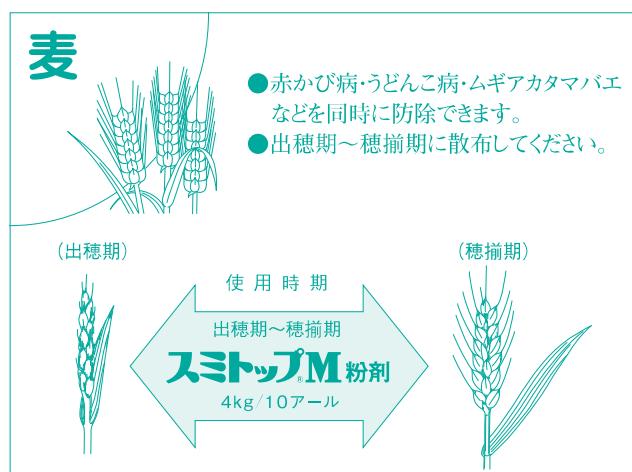
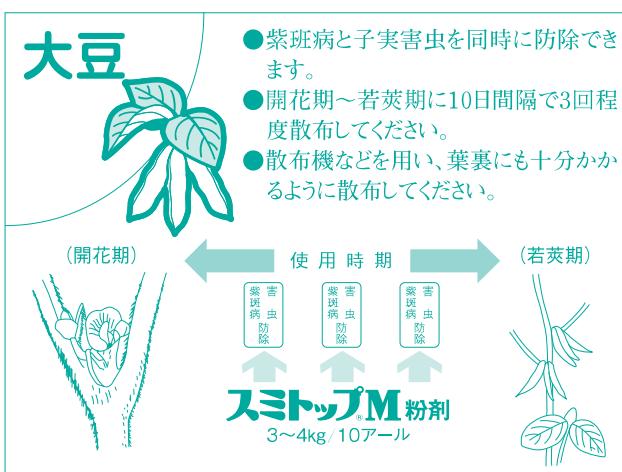


日本曹達株式会社

■適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量 (kg/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	MEPを含む農薬 の総使用回数	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数	使用 方法
小麦	赤かび病 うどんこ病 ムギアカタマバエ アブラムシ類 ヒメビウンカ	4	収穫14日前まで	1回	1回	4回以内 (種子への処理は1回以内、散布及び無人ヘリ散布は合計3回以内、出穂期以降は2回以内)	散布
麦類 (小麦を除く)						3回以内 (種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内)	
だいす	紫斑病 マメシンクイガ カメムシ類 ダイズサヤタマバエ シロイチモジマダラメイガ	3~4	開花期~ 若莢期 但し収穫 21日前まで	4回以内	4回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内)	
つつじ類	褐斑病 ツツジグンバイ	4	—	5回以内	6回以内	5回以内	

■上手な使い方



△効果・薬害などの注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- だいすに対しては適用病害虫の同時防除剤として使用し、開花期～若莢期に2～3回散布してください。
- あぶらな科作物には葉害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかかるないように注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - (1)ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるようにしてください。
 - (2)受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさせてください。
- (3)関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤を使用した場合には、ペノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種粒への処理及び塗布処理は除きます。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△安全使用上の注意

- MEPの解毒剤としては硫酸アトロビン製剤及びPAM製剤の投与が有效であると報告されています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

 日本曹達株式会社
〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
お問合せ (03)4212-9655
No.265-2410S (平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



本資料は、2024年10月現在の登録内容に基づいています。

最新の登録内容、
SDSはこちらから